

金澤町家の継承と活用 シンポジウム

文化庁委託事業報告&意見交換会

—空き家の歴史的建築物と所有者等への
流通と活用の促進支援の仕組みと課題—



日時：平成 31 年 3 月 2 日（土）

13 時 30 分～16 時 45 分

会場：近江町交流プラザ「集会室」

金沢市青草町 88 番地（近江町いちば館・4 階）

参加：資料代 500 円（招待者および学生の参加は無料）、要事前申込

【開催主旨】

金澤町家は昭和 25 年までに建築された木造建築の愛称で、貴重な歴史的資源です。「古い、暗い、寒い」などと敬遠され、取壊されてきた金澤町家が今見直され、住まいだけでなく、レストラン、カフェ、店舗、ギャラリー、工房、ゲストハウスなど多様に活用されるなど、歴史的建築物の需要が高まる中、供給が追い付いていないという現状があります。一方で、空き家となった歴史的建築物は数多く存在しています。空き家となった歴史的建築物の所有者が抱える問題や課題を明らかにし、それらを検証しながら、今後の金澤町家の流通を促進する仕組みを皆様とともに考えるための場としたいと思います。

- ・ 開場・受付 13 時 10 分～13 時 30 分
- ・ 開 会 13 時 30 分
- ・ 報 告 13 時 35 分～14 時 45 分
- ・ 本事業の報告 15 時 00 分～15 時 25 分
報告者：豊島 祐樹
(石川工業高等専門学校助教)
- ・ パネルディスカッション
15 時 30 分～16 時 45 分
- ・ 閉 会 16 時 45 分
- ・ 意見交換会 17 時 30 分～

【報 告】 13 時 35 分～14 時 45 分

●利活用者

陣内 智子 (茶論 花色木綿 オーナー)

西町四番丁にて昭和初期建築の空き町家を購入し、2014 年にコミュニティカフェ&ギャラリーをオープン。落語寄席やコンサート、写真展など様々に利用されている。カフェスペースは畳にちゃぶ台のなつかしい空間。

●建築設計士

北出 健展 (一級建築士、ジェル・アーキテクト 代表)

2015 年に神奈川県大磯から金沢へ移住。約 1 年かけ物件を探し、東山にて空き町家を購入。自身で改修設計し、奥様が営むカフェ「豆月」&設計事務所&自宅として活用している。金沢職人大学校修復専攻科 7 期生。

●宅地建物取引士

柴野 道雄 (有限会社 あおぞらプランニング 代表)

元銀行員で退社後の 2005 年に不動産会社を設立。「金澤町家情報バンク」等も利用し、金澤町家の流通にも積極的に関わる。町家を活用した民泊の自社運営や代行運営も積極的に展開している。

【パネルディスカッション】 15 時 30 分～16 時 45 分

タイトル 「金澤町家の継承と利活用の進展に向けて」

パネリスト・陣内 智子 (利活用者)・北出 健展 (建築設計士)・柴野 道雄 (宅地建物取引士)
コーディネーター・川上 光彦 (金沢大学名誉教授)

【意見交換会】 17 時 30 分～19 時 30 分頃

会 場 旬彩和食「口福」(近江町いちば館・2 階)

参加費 5,000 円 (飲物代含む) ※要申込 (2 月 22 日 (金) 申込締切、定員に達しましたら締切いたします)

【参加申込・お問い合わせ】

NPO 法人金澤町家研究会

〒920-0854 金沢市安江町 4-20

電話 076-254-0647 / fax 076-254-0657 / メール kanazawa-machiya@nifty.com

<http://kanazawa-machiya.net/>

